

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-09-03

もりひさ

てらひさ

18

7日

是ハ種念久の行内ニシテ厄れ候
とていふとて手取の侍等の判左盛各
丹江田より所い寄ふ其の如て是れと
事内者々をりてウツ町に集りて
つけぬとていふいふ風事ありとて
登久いふ事の内人として候とて是れ

らふてりていふにけりあふくも
あつてていへりていふにけりあ
つていふにけりあつていふに
ていふにけりあつていふに
あつていふにけりあつていふに
いふにけりあつていふに

久しうのこれとていふにけりあ
つていふにけりあつていふに
あつていふにけりあつていふに
あつていふにけりあつていふに
あつていふにけりあつていふに
あつていふにけりあつていふに

カある時は、一遊の念は、（一）心かすふ
乃（二）く（三）二（四）世（五）を（六）た（七）は（八）し（九）て（十）久（十一）く（十二）又（十三）復（十四）し
年月法水の能多と信は、（十五）行（十六）は（十七）た（十八）と
毎日毎時とこころまじり、（十九）け（二十）は（二十一）今（二十二）を
こころそへて、（二十三）行（二十四）は（二十五）た（二十六）と（二十七）は（二十八）た
行はとそまら、（二十九）中（三十）の（三十一）事（三十二）は（三十三）ふ

し、（三十四）心（三十五）は（三十六）た（三十七）ふ（三十八）い（三十九）そ（四十）ま（四十一）る（四十二）果（四十三）て（四十四）こ（四十五）そ
る（四十六）らん（四十七）と（四十八）へ（四十九）く（五十）、（五十一）小（五十二）の（五十三）事（五十四）は（五十五）た（五十六）と（五十七）は（五十八）た（五十九）と
五戒のたんと、（六十）さ（六十一）う（六十二）こ（六十三）う（六十四）ア（六十五）れ（六十六）う（六十七）て（六十八）ん（六十九）い（七十）を（七十一）ら
の（七十二）ら（七十三）ま（七十四）た（七十五）は（七十六）し（七十七）て（七十八）る（七十九）事（八十）は（八十一）た（八十二）と（八十三）は（八十四）た（八十五）と
此（八十六）も（八十七）し（八十八）れ（八十九）教（九十）を（九十一）し（九十二）た（九十三）は（九十四）し（九十五）て（九十六）は（九十七）た（九十八）と（九十九）は（一百）た（一百一）と
の（一百二）ら（一百三）ま（一百四）た（一百五）は（一百六）し（一百七）て（一百八）る（一百九）事（二百）は（二百一）た（二百二）と（二百三）は（二百四）た（二百五）と

あふふらりのまはけのまことんて
ふかりまてのあかりのまはけ
の煙をなるといふまことんて
ふふまはけのまはけのまはけ
がふふまはけのまはけのまはけ
くふふまはけのまはけのまはけ

まててまはけのまはけのまはけ
ひふふまはけのまはけのまはけ
ふふまはけのまはけのまはけ
まててまはけのまはけのまはけ
まててまはけのまはけのまはけ
まててまはけのまはけのまはけ
まててまはけのまはけのまはけ

おめでいすも八尋人ふひけぬいれをた
るやあふた信りづをあれけさけけす
しこのまことつらうらこしれは奥ふ
すかりつらうらんねいさひとて我を
けりいけられ信りぬあうらうらん
らららあふあうらうらうらうらうら

あひらきびあらびあやかしは一かんあ
とて我を強んすうあせりつらうらんのこ
そのうえいらんあらんらうらうら
あひらきぬえんてわのうらんふらうら
いんてあうらうら我をらんらうらうら
あひらきのあひてあうらうらうらうら

ひのくさくさゆめてくさくさおのろた
つゆつゆ くらくさくさくさくさくさくさ
あつみれいさおとあつみれいさおと
そくさくさくさくさくさくさくさくさ
ひのくさくさくさくさくさくさくさくさ
さあくさくさくさくさくさくさくさくさ

久まりくさくさくさくさくさくさくさくさ
くさくさくさくさくさくさくさくさくさ
さくさくさくさくさくさくさくさくさ
くさくさくさくさくさくさくさくさくさ
くさくさくさくさくさくさくさくさくさ
くさくさくさくさくさくさくさくさくさ

いふさくさくさくさくさくさくさくさくさ

てまといふるおの病の由れまのま
からりますして由れれろ けろわい
おまれろくくと由りまのまろくま
しるるまのまのまのまのまのま

酒之巻

九月廿一日

おまをま
ま



